

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 聖恵会	代表者	遠部敦也	法人・事業所 の特徴	竹原市唯一の小規模多機能型居宅介護事業所です。介護が必要となられても地域の人々とともに地域の中で安心して生活が送れるように支援しています。通いを中心に訪問、泊りを組み合わせたサービスを提供しています。顔なじみのスタッフが支援するため安心感があり、通いの延長、急な宿泊にも柔軟に対応できます。
事業所名	ドリームハウス聖恵	管理者	田井由香		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	1人	0人	3人	0人	9人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・実施できていない項目の原因分析し、具体的な改善計画にします。 ・改善すべき事項については、期間を設定し出来る事から実施します。	・自己評価に取り組み、「できていない点」を原因分析して職員間で共有し、改善計画にしました。 ・改善事項があれば、即対応できるようタブレットに記入しミーティングで検討し、早く改善出来るよう情報共有しました。	・介護度に関係なく、その方の「～したい」の意向に沿ったケアプランの作成を継続していただきたいと思います。 ・家族としても写真で見せると分かりやすく助かります。	・タブレットで情報共有の継続をします。 ・実施できていない項目の原因分析し、具体的な改善計画にします。 ・改善すべき事項については、期間を設定し出来る事から実施します。
B. 事業所のしつらえ・環境	・事業所を明るく、快適に過ごせるよう保ちます。 ・看板は、令和6年度中に完成させます。	・常に整理整頓を心掛けています。 ・事業所案内の看板は、昨年度中に近くの道路沿いに設置しました。	・看板の設置により、場所がわかりやすくなった。 ・温かみのある内装、自然光がたくさん入りそうな空間、園庭が設置されていることで自然とのつながりを感じます。	・事業所内外を明るく、快適に過ごせるよう保ちます。
C. 事業所と地域のかかわり	・事業所紹介パンフレットを作成し、自治会等に配布します。 ・ボランティアの受け入れを再開し、地域の方との交流を進めていきます。	・事業所のパンフレット更新、病院地域連携室や居宅サービス事業所等からの問い合わせには空き情報を伝えました。 - 自治会にパンフレットの配布は出来ませんでした。 ・ボランティアの受け入れはありませんでした。	・地域密着事業所だからこそ地域とのつながりを強化する取り組みの意義は大きいものと考え、地域側の理解が進めば、地域との交流が深まると思います。簡単な行事を企画してはどうでしょうか？	・年4回ドリーム新聞作りを行い竹原市ネットワーク会議等で配布していきます ・地域との関わりが持てる行事の企画をしていきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・事業所から利用者が地域のいろいろな行事に参加できるようにします。また黒滝ホームさんに協力して頂けるように依頼します。	・地域のイベントは希望者は、ドライブで参加して頂きました。 - 黒滝ホームさんと協力して行う行事の計画は出来ませんでした。	・地域資源の活用が必要だと思います。「地域ボランティアの活用」「地域施設の利用」「地域行事やイベントへの参加」等をどうするか？ ・この場所を提供して人が来ることをしてもいいのではないかと？	・地域行事に参加します。 ・ボランティア団体の受け入れを検討していきます。 ・今年度も黒滝ホームさんとの連携を検討していきます。

E. 運営推進会議を活かした取組み	・会議で意見、アドバイスを頂き運営に反映させていただきます。 ・地域密着型事業として会議を有効に活用していきます。 ・会議の参加者の選任・人数については基準と照らし合わせて検討していきます。	・運営推進会議では、様々なご意見をいただき、避難訓練では地域の方に参加して頂くために運営推進会議の中での意見を元に計画し、課題改善の参考にさせていただき、実施出来ました。	・運営推進会議で高齢者や独居高齢者問題等地域課題を共有できればと思います。 ・会議を有効活用することで、地域の一部として機能していけば利用者と地域社会全体に大きな価値がでるのではないかと？	・会議で意見、アドバイスを頂き運営に反映させていただきます。 ・地域密着型事業として会議を有効に活用していきます。
F. 事業所の防災・災害対策	・事業所の防災マニュアル、避難計画、BCPを委員に見て頂き確認して頂きます。 ・次回以降の避難訓練には近隣の自治会に案内文を出して協力頂き、一緒に避難訓練します。 ・感染症対策は継続実施します。	・防災マニュアル、避難計画、BCPを最後の会議で確認いただけました。 ・避難訓練を年2回実施し、近隣の自治会に案内文を出し、数名の方に参加して頂きました。 ・感染症等について、利用者様の検温・マスク着用は継続しています。	・災害時は、地域の方々、近隣事業所との連携が必須ですね。 ・災害時の安全対策と備蓄、連絡体制、防災訓練の実施、利用者を守るための工夫など、日頃から頼れる事業所となるよう努めていきたいと思います。	・次年度も、事業所の防災マニュアル、避難計画、BCPを必要に応じて修正し、その場合は、委員に見て頂き確認して頂きます。 ・避難訓練には継続して近隣の自治会に案内文を出して協力頂き、一緒に避難訓練します。